

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3873800290
法人名	社会福祉法人 西予総合福祉会
事業所名	グループホームうつのみやさんの家
所在地	愛媛県西予市宇和町岩木 1 0 2 7 番地
自己評価作成日	平成22年8月30日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（↓このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成22年9月17日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

民家改修であるため、家庭的な空間であり、居間は昔ながらの茶の間の雰囲気与生活の音、におい、人の気配が感じられる。
家の周りには広い庭、畑があり、農作業や畑で出来る旬の農作物の収穫等季節を五感で感じる事が出来る。
出来るだけ外気に触れるよう、散歩、農作業、日光浴等戸外での活動を重視している。

● 古民家を改修したホームで敷地が広く、池や畑もあり、四季折々の木や草花があり、建物そのものや玄関の雰囲気、ふすまや畳等、土地ならではの趣があり利用者には懐かしい雰囲気となっている。段差の多い構造ではあるが、利用者は、手すりや壁、家具等を支えにして、事業所内を移動されていた。
● 今年度は、4名の利用者の方の入れ替わりがあり、事業所には新しく入居された利用者が多く、入居から1ヶ月間は、ご家族からご本人のこれまでの暮らしぶり等を聞き取ったり、利用者のできることにについては「常時できること」「良好な時でできること」に分けて記録して、ご本人の現状をアセスメントされている。遠慮がちな性格の方には、職員が夜間、居室等でお茶を飲みながらお話しするように心がけておられ、ご本人の思いを引き出すことができるよう努めておられる。

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当する項目に○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる （参考項目：23,24,25）	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています （参考項目：9,10,19）	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある （参考項目：18,38）	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている （参考項目：2,20）	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている （参考項目：38）	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている （参考項目：4）	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている （参考項目：36,37）	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている （参考項目：11,12）	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている （参考項目：49）	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている （参考項目：30,31）	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている （参考項目：28）	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。
- 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

- 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。
- チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名

うつのみやさんの家

(ユニット名)

記入者(管理者)

氏 名

兵頭 いずみ

評価完了日

22年 8 月 30 日

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価)	
			理念を共有できるよう目に付くところに貼っている。 散歩、地域の行事には出来るだけ参加するようにしている。	
			(外部評価)	
			開設時より「一人ひとりの人格を尊重し、生き生きと地域の一員として生活できるよう支援する」と、理念を掲げておられ、月1回行われている職員会の中で、理念について話し合うようにされている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価)	
			近隣の方の訪問や利用者の友達のお宅への訪問、散歩での会話、事業所の行事への近隣の方の参加等を実施している。 また農作物をいただいたり、出来た農作物を配ったり交流している。	
			(外部評価)	
			毎年7月に、開設記念の「バーベキュー大会」を行われており、今年は、6名の地域の方もともに、ご家族や利用者とも一緒におしゃべりをしながら楽しく過ごされた。後片付けを手伝ってくださる地域の方もあった。回覧板を利用者と職員で次のお宅に回したり、事業所でできた野菜をおすそ分けしたり、又、ご近所の方からは、手作りの漬物やジャムをいただくこともある。「手伝っていいことがあれば、声をかけてください。」と言ってくくださるご近所の方もおられ、おやつ作りのお手伝いをお願いされたり、野菜の作り方を教えていただくこともある。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価)	
			運営推進会議での話しくらいで特に行っていない。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取り組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービ ス向上に活かしている	(自己評価)	
			避難対策や利用者との交流等で活用している。 事業報告により活動、サービス提供の報告を行う。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、 事業所の実情やケアサービスの取組みを積 極的に伝えながら、協力関係を築くように 取り組んでいる	(外部評価)	
			昨年度、会議の開催が5回に留まったが、今年度は、会 議を6回実施できるよう計画を立ててすすめておられ る。会議では、外部評価結果について報告されたり、 火災時の対応について話し合われた際には、地域の方 より「いち早く駆け付けるためにも、サイレンを取り 付けただろうか。」と提案いただき、事業所で「サイ レン付きのマイク」を購入された。	管理者は、今後「派出所の警察官や消防団長、公民館 長等にも、会議に参加していただきたい」と考えてお られた。地域のいろいろな立場の方に会議に参加して いただきながら、事業所のことや認知症のことを知っ ていただき、感想や意見を聞き取ることができるよう 会議をすすめていかれてほしい。
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準におけ る禁止の対象となる具体的な行為」を正し く理解しており、玄関の施錠を含めて身体 拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価)	
			実施している。	
			(外部評価)	
			毎日のように「家に帰りたい」と言われる利用者の方 には、職員が同行し、ご自宅まで行ってみる等、ご本 人が納得できるような対応に努めておられる。管理者 は「言葉も拘束になる」ことを職員に話し、職員は 日々気を付けるようにされ、利用者の自由な暮らしを 支えていけるよう取り組まれている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) まず虐待はありえないという認識を全員が持っているが、印刷物を配るのみで勉強会は行っていない。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 今のところ必要な利用者がいないので特に行っていない。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 入所時によく説明し話し合っている。	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 訪問時の面談や運営推進会議等で聞くようにはしている。 介護相談員の受け入れ、法人での利用者、家族へのアンケート等も行っており意見を聞くようにしている。 (外部評価) 以前は、2ヶ月に1回事業所だよりを発行しておられたが、現在は半年に1回の発行となっている。利用者の暮らしぶりをご家族にお知らせするお手紙も、現在は滞りがちである。管理者は「事業所からの情報提供が少ないのでご家族が感想や意見を出しにくいのではないかと感じておられた。	管理者は「以前のように便りを発行したり、ご家族個々へホームの様子やご本人の様子を伝えるお手紙を出せるよう取り組んでいきたい」と話しておられた。ホームで力を入れて取り組んでいることや日々の生活の様子等の情報を工夫して伝え、事業所のケアサービスについてご意見や要望をうかがってみてはどうだろうか。又、ご家族とゆっくりお話をする機会を作る等、ご家族が意見を出しやすい雰囲気や機会作りにも工夫を重ねていかれてほしい。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)	
			職員会で話し合い、意見を聞くようにしている。	
			(外部評価)	
			職員は「食卓の座席を気の合う方がとなり合うようにしてはどうか。」「縫い物の得意な方に古くなったタオルで雑巾を縫ってもらってはどうか。」等、日々のケアの中で気付いたことをもとに提案して、職員で話し合い採り入れるようにされている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価)	
			自己評価、目標達成項目、要望を個人で記入し上司に提出している。	
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)	
			法人内研修に各施設から参加するようにしている。 游愛研修、トライ研修、福祉QC研修等 GH連絡協議会の研修、実践者研修等	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価)	
			GH連絡協議会の研修、相互研修等に参加してネットワーク作りに生かしている。 今年度県社協の事業を行う予定。	
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価)	
			ご本人の要望、ご家族の要望等できるだけ聞くようにしている。またご本人の生活歴や趣味、家庭環境等の情報を収集し、入所時の話題や過ごし方の参考にし、安心できる環境の提供に努める。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○ 初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 入所時に聞くようにしている。	
17		○ 初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) ゝ	
18		○ 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) ご本人の意向、出来ること、好きなことを出来るだけやってもらえるよう、気をつけている。	
19		○ 本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 今年度は利用者の入れ替わりが激しく、関係は出来ていないと思う。	
20	8	○ 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 県外の利用者の妹さんが泊まれたり、ご家族の訪問、近所の友達の家への訪問、里帰りなど出来る限り支援している。 (外部評価) 近くの友人宅に遊びに行かれる利用者の方や、事業所に来られた知人と居室でおしゃべりしながら過ごされる方もある。「他施設に移ったご利用者の方に会いに行きたい。」とご希望される方もあり、職員と一緒に面会に行かれた。月に1度はご自宅に戻り2～3泊されてご家族と過ごされる方や、お孫さんがご本人の髪を切りに来てくれている方もある。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) まだ入所間もない利用者が多く、今からの課題である。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 時々相談を持ちかけられる事があり、対応している。また退所後3年たっている利用者家族が年に2,3回、野菜等の差し入れに来ていただき、ありがたい。その時々を利用者の様子も聞ける。	
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 一人ひとりの思いをケアプランに生かせるように日々努力している。また、常になぜ、どうして、という思いでご本人の発言や行動を考えるようにしている。 (外部評価) 今年度は、4名の利用者の方の入れ替わりがあり、事業所には新しく入居された利用者が多く、入居から1ヶ月間は、ご家族からご本人のこれまでの暮らしぶり等を聞き取ったり、利用者のできることに分けて記録して、ご本人の現状をアセスメントされている。遠慮がちな性格の方には、職員が夜間、居室等でお茶を飲みながらお話しするように心がけておられ、ご本人の思いを引き出すことができるよう努めておられる。	管理者は、利用者の日々の「会話の中から、その人の思いを探っていきたい」と考えておられ、利用者個々の発する言葉を蓄積していけるような記録のあり方について検討されていた。記録等を工夫して、より利用者個々の思いや意向の把握に努められ、日々の支援につなげていかれてほしい。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 出来る限りご家族からバックグラウンドを聞くようにしているが、核家族化や独居の方もあり、詳しい情報が得られない事が多くなった。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) その時々を利用者の状態により、個々の活動を調整している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(自己評価) 職員会で話し合い、計画を作成する。ご本人、ご家族は参加しない。 意見のいえる利用者に関しては、日ごろの本人の発言、ご希望等をケース記録等に記入して参考にする。	
			(外部評価) 入居直前に作成した介護計画は、入居後、1ヶ月で見直し、その後は、3ヶ月毎に見直しを行っておられる。計画作成前には、ご本人、ご家族にホームでの暮らしについて希望や意見を聞き取り、管理者と職員で話し合って介護計画を作成されている。さらに、モニタリングのあり方等も工夫して、計画に沿って支援できているか見守っていくような仕組みも作ってみてはどうだろうか。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 毎日のご本人の過ごし方、心身の状態等を記入して、参考になっている。	
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価) 職員数が少ないため、サービスの多機能化は困難であるが、出来る限り対応したいという思いはある。	
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	(自己評価) ご家族や地域の方たちのご協力により、生活していただいている。 不安定になられた利用者を、近所のお友達が家に連れて帰って半日預かっていただいたことがある。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	○ かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	(自己評価) 時間外の往診等緊急時には対応、助言していただき助 かっている。 定期的な受診（月１回）の支援もしている。	
			(外部評価) 以前からのかかりつけ医の受診を希望される利用者は ご家族が付き添っておられ、ご家族の付き添いが難し い方については「協力医は、24時間いつでも対応が可 能である」ことを説明して、移行してもらえるように 話しておられる。協力医の受診は職員が同行されてい る。	
31		○ 看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	(自己評価) 看護職員はいない。	
32		○ 入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院で きるように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価) ご本人の基本情報を持参しスムーズに入院加療が出来 るようにしている。	
33	12	○ 重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価) 建物の状況（段差だらけの日本家屋であること）から 車椅子が必要になればこのホームでの生活は無理であ るため、次の転居先をご家族と話し合いながら決めて いる。	
			(外部評価) 事業所は古民家を改修したホームで段差等も多く、構 造上のこともあり利用者が車いす利用する状態になれ ば、ホームでの生活が難しくなるが、その後の受け入 れ先を紹介することを入居時に説明されており、ご家 族等には理解をいただいている。管理者は「現在、利 用者やご家族からの看取りのご希望はないが、希望が あればできる範囲で支援していきたい。」と話してお られた。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 母体施設での研修、避難訓練時等に消防署員から応急手当の方法を研修してもらう。	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 近隣の方も参加していただき、避難訓練を実施している。 (外部評価) 今年度、自動火災通報装置を設置され、近隣の4名の方にも自動で通報するようになっている。駆け付けてくれた地域の方には、事業所の一角まで避難した利用者を見守っていただけようようお願いされている。建物の老朽化に伴い、漏電の可能性を考えられ、今年、配線の点検やねずみの駆除を行われた。9月末に、夜間想定で通報装置を稼働させて、避難訓練を行う予定となっていた。	
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 一人ひとりに、そのように気をつけて対応しなければ、日々のケアが成り立っていかない。 (外部評価) 職員は利用者の「今の気持ち」を大切にしたいと考えておられ、「今どのようなことを考えているか」を察しながらかわるようになっている。調査訪問時、管理者が畑仕事をされている利用者に「休みながらしてや。後でお茶持ってくる。」と土地の言葉で声をかけると、利用者は麦わら帽子を脱いで笑顔で答えられた。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 出来る限り無理強いしないように、本人の意向を考察しながら対応している。またその気になるような声掛け、かわりを実践している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) その時々の利用者の状態により、個々のペースを重要視しないと、成り立っていかないが、希望をすべて満足するには出来ない。出来る限り希望を実現できるように努力しているくらい。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 洗顔整髪、着替え等個々の能力に合わせて介助している。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 食事の準備、食材の収穫、食後の洗い物等毎日手伝っていただく。 (外部評価) 事業所の畑で採れた野菜やご近所の方からいただいた野菜を採り入れておられ、時にはご近所の方が、釣った魚を刺身にしたり、下ごしらえをして持ってきてくださることもある。メニューは、冷蔵庫の中にある食材をみながら、その日の職員が考えるようになっており、利用者から「おすしが食べたいなあ。」等、希望があれば、その日に作るようにされている。調査訪問時には、利用者が菜飯をしゃもじで混ぜておられたり、食後には、職員が洗った食器をふきんで拭いたり、乾いた食器を食器棚に片付けている利用者もみられた。おやつには、事業所の畑で作った今夏最後のすいかを利用者が収穫されて、色や味等の、話題も弾み、おいしく食べておられた。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 特に水分補給に気をつけている。 歯のない方には、食べやすい大きさにする等無理なく食べれるようにしている。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 個々の状態により、支援している。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価)	
			自尊心を傷つけないような排泄介助を行い、定期的に声掛けをして、出来るだけトイレでの排泄が出来るように支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(外部評価)	
			ご本人の不安な気持ちから紙パンツの使用を希望される方もいるようだが、ご自分でトイレに行かれたり、声をかけて誘う等、支援されている。トイレにお誘いすることが難しい方もあるが、ご本人が立ったタイミングに声をかける等、それぞれの性格や希望も踏まえて、個々がトイレで排泄ができるよう支援に努めておられる。	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価)	
			毎日入浴を行っている。時間帯は、どうしても日勤職員のいる時間帯になってしまう。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(外部評価)	
			一人で入浴される方にも、時々「背中を洗いましょうか。」等と声をかけて、希望があれば洗髪やご自分では洗にくいところを職員が手伝うようにされている。毎日のように畑仕事をされる方は、畑仕事を終えた後に、お風呂に入りくつるげるように準備されている。	
			(自己評価)	
			最近の猛暑の影響で、昼食後昼寝をされる利用者が多くなった。休憩を取ることで、少しでも体調を維持できるようにしている。それ以外は出来るだけ外気に触れ、動くようにして、夜間安眠できるようにしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 投薬表をつけ飲み間違いのないようにしている。薬の処方箋は、投薬表に添付し、何の薬を飲んでいるかわかるようにしている。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 個々にあった役割（掃除、洗濯干し、たたみ、食事準備）をしてもらい、畑仕事、縫い物、手芸等も出来る方にはやってもらっている。ドライブ、買い物外出等で気分転換も心がけている。	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 花火大会、運動会、外食等、頻繁には無理だが季節季節の行事には参加するようにしている。 (外部評価) 毎日、散歩される方や庭先のベンチで職員と日向ぼっこをされる方もある。近くの公園や野村ダムにドライブされたり、洋服を買いに出かけることもある。近々、小学校の運動会を見学に行かれる予定があり、見学の後には、食事処で利用者個々がお好きなものをメニューの中から選んで食事することが恒例になっており、利用者は楽しみにされている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 現在自分で所持されている方はいない。必要に応じて所持できるようにしている。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 荷物を送っていただいたら、お礼の電話を掛けるようにしている。年賀状、暑中見舞い等できるだけ本人に、一言かいてもらうようにしているが、嫌がられる方が多い。せめて名前だけでも書いてもらうようにしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 建物の構造上からも生活感、季節感は常に感じられる環境である。夜間はトイレまでの廊下に感知式のライトをつけて迷わず安全に往復できるようにしている。窓を開けていつも風が通るようにしている。	
			(外部評価) 玄関を上がった部屋には、外の景色が見えるようソファが置かれてあり、利用者の集う場所になっている。ソファに座って新聞を読んだり、職員手作りの道具を使って、布を割いて作る「裂き織り」をされている方もあり、コースター等を作っておられた。古民家を改修したホームで敷地が広く、池や畑もあり、四季折々の木や草花があり、建物そのものや玄関の雰囲気、ふすまや畳等、土地ならではの趣があり利用者には懐かしい雰囲気となっている。段差の多い構造ではあるが、利用者は、手すりや壁、家具等を支えにして、事業所内を移動されていた。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 外のベンチ、自分の部屋など自由に移動して過ごせるようにしている。	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かし、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) たんす、位牌等持ち込まれている方もおられるが、馴染みのものを持ち込まれる方は少なく、たいていは新しく買ってこられるようである。プラスチックの衣装ケースが多い。	
			(外部評価) 古民家の間取りをそのままに活かしておられ、居室の襖を開けると、共用空間のテレビを見ることができたり、玄関や台所が見られるようなお部屋もある。お花の好きな方は、庭の花を花瓶に生け飾っておられた。ご家族の位牌を持ち込み、毎朝、職員と一緒にお水を替えお世話されている方もいる。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 自分の部屋がわかるように名札をつけたり、段差には手すりをつけ移動しやすくしている。夜間のトイレも一晩中電気をつけ迷わず安全ににいけるようにしている。	